

## 「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

### 「確かな学力」の育成に向けて

平成31年4月18日（木）に実施された全国学力・学習状況調査の結果については、新聞等でも報道されていますので、関心をお持ちの方も多いかと思えます。鳥取県全体では、国語および算数・数学では、小学校、中学校とも全国平均と差が見られませんでした。中学校英語は全国平均を下回る結果でした。では、日南町の状況はどうだったのか、ご紹介したいと思います。

平均正答率(%)	国語	算数・数学	英語
小学校	57 (全国 63.8)	64 (全国 66.6)	/
中学校	74 (全国 72.8)	58 (全国 59.8)	

小学校は、国語、算数ともに全国平均を下回る状況でした。ここ数年、学力向上は大きな課題となっており、昨年度からは特に算数を中心に学力向上に取り組んでいます。その成果か、算数においては改善傾向が見られますが、国語では全国平均をかなり下回っています。

中学校は、昨年度まで国語、数学ともに全国平均を下回る状況がありましたが、今年度は国語で全国平均を上回り、数学でも改善傾向が見られました。学力向上に一定の成果が見られる状況です。今回から実施された英語では、全国平均を下回りました。

また、小中学校で共通して、学校以外での学習時間

が非常に少ない状況がありました。宿題を確実にやることに加え、自分で学習課題を見つけ、自主的に学習に取り組むことが求められます。学習意欲や生活習慣に関しては、就学前からの体験が大きく影響することもあり、幼少時からの一貫した取り組みが必要と言えます。

グローバル化が進展し、将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会において育成すべき資質・能力を、新学習指導要領では三つの柱として示しています。

- ①何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)
- ②知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)
- ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)

つまり、子どもたちに求められる「学力」とは、知識や技能を習得することに加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたものであり、今回の学力・学習状況調査をはじめ、高校入試や大学入試等にもこうした考え方は反映されています。

日南の子どもたちの学力向上に向けて、学校での授業や家庭学習、また様々な社会体験等を通して、三つの資質・能力を総合的かつ全体的にバランスよく身に付けさせ、子どもたちの学力の質を高めていくよう、学校・家庭・地域社会が連携して取り組んでいきたいと思えます。ぜひみなさんのご協力をお願いいたします。

## にちなん子ども応援隊だより No. 78



こんにちは。  
9月も定例的な支援ボランティア活動の他、日南小での読み聞かせ、4年生の「手話学習」支援、5年生の「稲刈り」等、多くのボランティア

の方にお世話になりました。ありがとうございます。

今回は、9月17日に行われた4年生の「手話学習」の様子を紹介します。

この学習は4年生が総合的な学習の時間に日南の福祉について調べる過程で取り組むことになったものです。当日は、聴覚障がい者、手話通訳者、手話普及コーディネーター、町内にお住まいの3名の手話ができる方にお世話になりました。

始めに聴覚障がいのある方から、聞こえないくらしのことや思い、他者に考えを伝える方法などを聞き、みんなであいさつの手話を学習しました。

その後、グループに分かれ、簡単な自己紹介が手話でできるように、ボランティアさんに教わりながら練習しました。

「こんにちは。わたしの名前は●●です。好きな食べ物▲▲です。よろしくおねがいします。」

恥ずかしそうな子もいましたが、グループ学習の頃には、多くの子が張り切って一生懸命練習していました。

鳥取県は全国に先駆けて「手話言語条例」を制定、「手話ハンドブック」を作成しています。そして、各校で日南小のような手話の学習を取り入れています。とっとり県政だよりや広報にちなんでも簡単な手話を紹介していますね。9月末には、全国高校生手話パフォーマンス甲子園が鳥取市で開催されました。

聴覚障がいのある方にとって、手話はコミュニケーションの大切な手段の1つです。多くの皆さんに関心を持っていただけると嬉しく思います。

にちなん子ども応援隊の活動に興味・関心がある方、体験してみたい方、気軽にご連絡ください。なお、にちなんふる里まつりにも活動の様子を掲示しますのでご覧ください。よろしくおねがいいたします。  
連絡先…日南町教育委員会(0859-82-1118)

